

## 病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

## 1 基本情報

法人名	医療法人三橋病院
医療機関名	三橋病院
所在地	千葉県千葉市中央区亀井町 2-3

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

## 2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む) <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input type="checkbox"/> 特別交付税措置 <input type="checkbox"/> 特別償却制度 <input type="checkbox"/> 県補助金

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

## 3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前										○	○
整備後										○	○
その他の内訳 及び補足等	人工透析										

## 4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科, 整形外科, 外科, 人工透析内科, 人工透析外科, 胃腸外科, 胃腸内科, 消化器外科, 消化器内科
	整備後	内科, 整形外科, 外科, 人工透析内科, 人工透析外科, 胃腸外科, 胃腸内科, 消化器外科, 消化器内科

## 5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料
			4 機能 合計
高度急性期	床	床	
急性期	床	床	
回復期	床	床	
慢性期	71 床	90 床	地域一般入院基本料 3、療養病棟入院基本料 1
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	

6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

現在、三橋病院で提供している透析医療と在宅支援病院としての在宅医療を推進していくにあたり、連携先の医療機関や介護施設等から望まれる機能として、急性増悪時や長期療養が必要な入院機能への期待・ニーズは高い一方、三橋病院の現状の療養病床 33 床では稼働率が常に 90%を超えており、医療の必要性が高い患者の受け入れが困難な場合がある。また、高齢化によるADL低下等、通院困難な透析患者について、受け入れが可能な医療機関が限定されるため、他院での受け入れ困難な患者についても積極的に受け入れを行っている。その一方で、医療法人社団櫻佑会においては、一般19床の開設許可病床を有しているが、理事長・院長の体調不良により夜間対応ができないため、現在、非稼働病床となっている。更に今後の後継者の課題などもあり、医療提供体制の継続を模索した結果、三橋病院と合併することとし、2020年7月1日に合併手続きを完了し継続して医療を提供できる体制を構築した。三橋病院では、今後、更なる高齢化の進展により、限りある医療・介護資源を効率的に活用し、患者・利用者が可能な限り住み慣れた地域、自宅で安心して療養できる環境を整えるため、櫻佑会との合併により増床・強化・整備を行い、また、病床機能を一般40床、療養50床とすることで、看取りに対するターミナルケア・リハビリテーション・認知症ケアをさらに充実させ、連携医療機関のみならず地域支援を行う慢性期医療の拠点として、透析医療、高齢者医療や在宅医療にかかわる機能強化を計画致しました。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

千葉医療圏において、75歳以上人口は、2015年から2035年にかけて81%増加すると見込まれており、それに伴い、入院患者数は2013年から2035年までに35%増加、在宅医療等の需要は2013年から2035年までに129%増加すると予測されているため、長期にわたり療養が必要な患者、重度の障害者又は難病患者、多数の合併症を抱えた透析医療を必要とする患者等、在宅医療での対応が困難な患者を入院加療する機能の強化を図り、また、圏域内における役割分担・機能の分化を行い、地域支援を行う慢性期医療の拠点として高齢者医療や在宅医療にかかわる機能強化を行っていき地域の医療機関・介護施設との連携を図ることで、地域医療構想との整合性も担保されるものと考えます。

8 整備スケジュール

供用開始予定	2023年	10月予定
その他補足		

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人三橋病院
医療機関名	昭和の森クリニック
所在地	千葉県千葉市緑区あすみが丘東 3-14-3
変更事項	<input checked="" type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前				○						○	○
変更後											
その他の内訳 及び補足等	人工透析										

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	0床	0床	
高度急性期	床	床	
急性期	床	床	
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	19床	0床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

2020年7月1日に医療法人三橋病院と医療法人社団櫻佑会が合併し、休棟している19床の病床を融通し、無床診療所とする予定のため。
--

病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）  
（本整備計画書は、基本計画策定前の現時点での想定である。）

## 1 基本情報

法人名	千葉市
医療機関名	千葉市立海浜病院
所在地	現在地：千葉市美浜区磯辺 3-31-1 移転先：千葉市美浜区若葉 3-1-26（予定）

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

## 2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む) <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input type="checkbox"/> 特別交付税措置 <input type="checkbox"/> 特別償却制度 <input type="checkbox"/> 県補助金

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

## 3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
整備後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の内訳及び補足等	移行期医療										

## 4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、小児科、小児科（新生児）、小児外科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、病理診断科、救急科
	整備後	現在の海浜病院の診療科目を原則維持することとしているが、総合的な医療を提供するために必要な診療科の整備については、周辺医療機関とも協議しながら検討していく。

5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料
4 機能 合計	293 床	333 床	
高度急性期	105 床	105 床	総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料 新生児集中治療室管理料 新生児治療回復入院医療管理料 小児特定集中治療室管理料 小児入院医療管理料 特定集中治療室管理料 ハイケアユニット入院医療管理料
急性期	188 床	228 床	急性期一般入院基本料
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	

6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

ER 型救急の構築に伴う医療圏西部（市西部 3 区）における救急医療の充実、その受け皿としての総合内科、後方診療体制（整形外科、呼吸器、消化器、循環器など）を強化する。高齢者医療（高齢患者の特性に配慮した総合的・全人的な医療の提供、がん・循環器・呼吸器疾患など）の強化、さらには移行期医療への取り組み強化、周産期・小児医療の集約による診療機能の拡大に加え、新興感染症等の受け入れも強化する。

これらの機能強化に伴う患者増を想定し、青葉病院から急性期病床 40 床を移行することとする。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

青葉病院の産婦人科及び小児科の入院機能を集約し、千葉保健医療圏内外からの高度で専門的な医療を必要とする患者を受け入れる。

2 次救急医療機関として、千葉県救急医療センターなどの 3 次救急医療機関や、青葉病院も含めた千葉保健医療圏内外の医療機関と連携し、救急搬送の受け入れ体制の強化に取り組む。

高齢者医療など総合的な診療科の整備を行い、地域の医療機関と紹介・逆紹介を活発に行いながら、地域の医療需要に応じていく。

8 整備スケジュール

供用開始予定	遅くとも 2025 年度
その他補足	

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	千葉市
医療機関名	千葉市立青葉病院
所在地	千葉市中央区青葉町 1273-2
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前	○			○	○	○	○				
変更後	○			○	○	○	○				
その他の内訳及び補足等	周産期・小児医療を、新病院へ機能集約する。（外来診療は継続の方向で検討）										

## 3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	314 床	267 床	
高度急性期	15 床	12 床	特定集中治療室管理料 ハイケアユニット入院管理料
急性期	299 床	255 床	急性期一般入院基本料
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

## 4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

高度急性期周産期・小児の入院機能を新病院へ集約、新病院の機能強化に伴う対応として、急性期 40 床を新病院へ移行するため。なお、2019年4月に病床の効率的な利用のため、高度急性期病床 3 床、急性期病床 4 床を減床している。